

いとおいしい日々

～ むすめへ ～

清瀬ちこ



## おやこの朝

---

窓辺にさしこむひかり  
手作りのサンドイッチ  
お着替えと準備にも

ごろごろ だらだら  
ぶらぶら ぐずぐず

時計の針はひびいてる

念仏をとなえた胸のなか  
一瞬、わすれた きらきらのえがお

## すねんぼさん

---

ぷうっと、ふくらんだほっぺた  
ぷうっと、つきだしたくちびる  
いっしょうけんめい、こわいめをつくる

いいたいこともいわず  
ずうっと、すねている

ほうったらかして、ごはんをつくる  
ほうったらかして、おせんたくをたたむ

しだいに、めには涙の海  
しだいに、こころは淋しさの底に

かまってほしい、すねんぼさん  
たしかめたいのは、あいされていること  
求められていることだけの、実感

## なきむし、さびしんぼさん

---

みんな人であるから  
みんなこころであるから  
みんなあたまであるから

みんなこころぼそい  
みんな泣きたいのだ

ほんとは手をつなぎたくて  
手をだせない、のばせない

みんなで手をつないでみたら  
みんな、みいんな、笑顔になる



## てのひら

---

てのひらにふれると  
そのあたたかさに驚くことがある

やんわりと温い手  
ごつごつと熱い手  
ぶあついがかたく冷たい手

そのどれにも意思があるように  
さまざまなかたちの手、手、手

どれをとっても 熱を帯びているのは、てのひら  
てのひらにふれるだけで通ってしまうもの

てのひらはこころ、あたま  
おそらく、情も通うのでしょう

## おむすび

---

ふと、てをとめる  
目とめがあったとたんに  
どうしてがはじまる

おむすび、たかい、たかいしているの？

だれかさんをさしおいて  
だれとも遊ばせんよ

無邪気なこえも高らかに  
宙にまいあがるほっぺに、おべんとう

## みずあそび

---

おさない声はシャワーになって  
あちらこちらでこだまして

きらきらした瞳に  
おひさまを浴びて

ちからいっぱい せいいっぱい  
かおが濡れても泣かない子

すべって 浸かって  
きらきらを浴びて  
きらきらとひかる、宝もの



## おてがみ

---

たどたどしく ならば文字は紙のうえ

どこへいくやら みみずの行進

なまえの行列 はっせいれんしゅう

流れでていく きれぎれの音

混じってでたのは夕飯のにおい、お腹のお返事

## まなぶちから

---

たのしくて たのしくて  
おもしろくて おもしろくて

知らないあいだに  
だいすきになって

たのしいから ひっしで  
おもしろいから むちゅうで

みみをすまして  
めをこらして

だいすきなきもち  
大きくなって 自信となって  
しずかに、たしかに、ちからの蓄へ

産みの親の知らないあいだに

## こもりうた

---

うまれたばかりの赤ん坊  
こもりうたうたって、ねんねんね

きょうもうたう、おかあさん  
いつのまにやら、とんとんとん  
おかあさんのまね、とんとんとん

かわいいちいさな、もみじのおてて  
うたにあわせて、とんとんとん  
おかあさんといっしょに、あそんでる



いとおいしい日々 ～ むすめへ ～

<http://p.booklog.jp/book/53093>

著者：清瀬ちこ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/marupyonlove/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/53093>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/53093>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ